

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	地区組織活動事業				担当部	健康福祉部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	保健センター				
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	母子保健係・成人保健係			
	総合計画 分野別計画	主目的	3 保健福祉	10 健康づくり	4 健康づくりのための環境を整備する						
		副目的	10-1		10-3						
	予算区分	款	4	項	1	目	4	大	3	中	3
	根拠法令・個別計画	健康こまきいきいきプラン									
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	子どもから大人までの地域住民の健康保持・増進のため、地域での健康意識を高め、お互いに育み合えるようにすると共に、気軽に健康づくりができるようにする。									
	内容 (手段)	<p>◆24年度実施内容</p> <p>保健連絡員を中心としたボランティアの援助により、地域の状況に応じた健康づくりを支援した。</p> <p>保健連絡員活動(ミニ健康展、がん死亡撲滅モデル地区活動、学習会、グループ会議、総会、活動発表会、赤ちゃん訪問等)をした。</p> <p>食生活改善推進員活動(定例会、総会等)をした。</p> <p>地域ボランティア活動(つつじ会、ささの会、そよかぜ、牧連体操クラブを始めとするボランティアの定例会等)をした。</p> <p>ボランティアが自身の成長ややりがいを得ることが出来るように、保健センターでは活動を支援した。</p> <p>◆H24年度直接経費の内訳</p> <p>ボランティア活動謝礼 2,542千円 ボランティア活動保険料 81千円 地区健康展委託料 756千円 消耗品等 1,205千円</p> <p>○25年度実施内容</p> <p>各活動とも、24年度同様実施する。</p> <p>◆H25年度直接経費の内訳</p> <p>ボランティア活動謝礼 2,742千円 ボランティア活動保険料 102千円 地区健康展委託料 2,000千円 消耗品等 2,657千円</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	4,820	4,604	4,584	7,501	
		正職員	従事者数	人	0.80	0.80	0.80	0.90
			人件費	千円	4,264	4,264	4,264	4,797
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計		千円	9,084	8,868	8,848	12,298
対前年比		%		97.6	99.7	138.9		
コスト	財源	一般財源	千円	8,346	8,256	7,669	11,169	
		国・県支出金	千円	738	612	1,179	1,129	
		その他財源	千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	保健連絡員登録者数	人	目標		245	247	247
実績				245	247	247	
赤ちゃん訪問実施の保健連絡員OB数	人	目標		330	330	330	330
		実績		320	329	313	
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
			目標		904	1,067	1,060
ミニ健康展参加者数	人	目標		904	1,067	1,060	1,300
		実績		1,345	1,053	1,267	
赤ちゃん訪問数実施率	%	目標		80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
		実績		84	86	83	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	地域ボランティアの活動は、地域に働きかけ、地域の協力が得られることにより成り立っている。積極的な取り組みが見られる。成果指標は目標値を上回っているが、活動指標の「赤ちゃん訪問実施の保健連絡員OB数」については下回った。ボランティアの資質向上のために、うつ・自殺予防の学習会を増加した。				
		事業実施における課題	保健連絡員は、区長に推薦を依頼しているが、引き受けるにあたってボランティア活動に不安を抱える方が多い。赤ちゃん訪問実施の保健連絡員OBは、訪問する家庭がない等で活動をやめられる方がいる。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	自分たちの健康は、自分たちで守る。また、お互いを見守り支えあう。という自助、共助の考えから、現在のぼら何ティア活動は必要と考える。地域における健康問題をみることができる活動は地域の力を借りる必要がある。この事業を縮小、廃止した場合には地域でのきめ細やかな健康維持啓発活動は実施できなくなる。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	健康まつりが廃止となり、6地区で地区健康展を行う予定である。地域の人に参加できるように働きかけをしてもらい、地域の健康度の向上に努めていく。ボランティアの育成、資質向上について、平成24年度から実施したステップアップ学習会を引き続き実施する。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)			
	判定理由	各区において、保健連絡員が積極的に活動しており、地域住民の健康づくりや、介護予防、子育て支援に役立っているため、現状が維持できるよう事業を行っていく。					
	26年度以降の改善案	保健センターは、健康をもとにした地域づくりを行うためにボランティアと一緒に、地域の健康課題を抽出したり、地域の人々が健康で暮らすことができるようにするための地区別の会議や学習会を年間通して行う。ボランティアが地域で活動しやすいように支援をしていく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。